

八千代オイコス かわら版

第48号



令和5年11月1日発行

八千代オイコス

<http://www.yachiyo-oikos.jp/>

川の学校 2年振りに花輪川に子どもたちの歓声が響く！

川の学校 ボランティア体験記

千葉県立八千代東高等学校JRC部 工藤月聖

先日は、川の学校に参加させて頂き、ありがとうございました。当日は晴天で暑い中での活動でしたが、子ども達とたくさんの生き物を探す事ができ、とても楽しかったです。

花輪川では、子ども達がオイコスの方々にアドバイスを頂き、生き物がいそうな部分に網を入れ、自分たちで捕まえることができている嬉しそうでした。花輪川は、水質が良く、ヨシノボリやザリガニ、ヤゴなどたくさんの種類の生き物達を発見することができ、子ども達と花輪川の偉大さを実感しました。今回の体験を通して、川にいる生き物達の住んでいる環境や水の循環について学べ、子ども達がSDGsについて興味を持つきっかけになると思いました。またこのような機会があれば、参加したいです。本当にありがとうございました。

千葉県立八千代東高等学校JRC部 高橋七星

先日は、とても貴重な体験を有難うございました。いつもは一人で行くことが多かったのが小学生やオイコスの皆さんと行けて、とても楽しかったです。！！

最初は、小学生の安全を守る役員という気持ちでいたのですが、無邪気に楽しんでいる皆を見ていたら、いつの間にか姉として一緒に遊びに来たという気持ちになっていました。

それに、車通りの多い所では一列で、横断歩道ではピンッと手を上げて歩いている姿を見て、すごく感動して安心しました。

他にも、オイコスの方の対応に尊敬していました。小学生は生き物を見つけると、直ぐにオイコスの方に聞いていたのですが、まずは自分でこれが何の生き物か考えさせ、それでもわからなかったらしっかりと教えてあげる、という姿勢に心が温まると同時に憧れていました。

もしまたこのような機会があれば、ぜひぜひ参加させて頂きたいです！！

* JRC=Junior Red Cross = 青少年赤十字 活動

参加した小学生・中学生の声 (アンケートより)

☆わくわくしたことは？

- ・川の中に入れる。
- ・どんな魚がつかまえられるか、ワクワクした。
- ・たくさん魚が取れて楽しかった。
- ・色々な種類の生きものがいた。
- ・大きい物が釣れた。
- ・ヤゴを捕まえてからは、心のエンジンがかかった。
- ・オニヤンマを見た。

☆さんねんだったことは？

- ・深いところに入れなかった
- ・大物が捕まえられなかった
- ・自分で生き物をたくさんつかまえられなかった。
- ・ヤゴ、ドジョウが逃げてしまった。
- ・エビ一匹逃げた！

☆気づいたことは？

- ・ヨシノボリがたくさんいた。
- ・川がキレイ。
- ・オニヤンマがずっと同じ所を飛んでいた。
- ・ほとんどの生き物は、草がおいしげっているところだった。
- ・ザリガニは触ると攻撃すると思ったけど、触っても攻撃しないことが分かった。
- ・ザリガニは片手がとれてもピンピンしている。
- ・ヨシノボリは卵を産むときおなかの色が変わる。
- ・ヤゴって少ないんだな。



レポート▶ 川の学校in花輪川

開催日：2023年7月30日（日） 天気：晴れ
参加者：小学生（3年生以上）21名
ボランティアスタッフ：県立八千代東高校生徒7名＋教師2名
オイコススタッフ：13名



2年ぶりの開催でした！

酷暑の夏、熱中症など安全面をお互いに気をつけました。八千代緑が丘駅に8時前に集合して、花輪川に向けて出発。花輪川の中の湧水や田んぼの景色など見ながら、活動場所の花輪川の土橋に着きました。

簡単な水質を調べた後は、生き物探しです。初めは苦戦していましたが、生き物がある場所、お友達と追い込むなど、工夫し合っている内に、捕れる生き物が増えていきました。

捕まえた生き物を観察した後、他のグループに教えたい一押しを決めて、4グループで発表しました。

八千代東高校の生徒さんの積極的にサポートもあり、安全に活動ができたことは感謝です。

中学生になっても参加してくれるリピーターもあり、オイコスとしてもうれしくなりました。

スタッフ 桑波田



レポート▶ 春のエコウォーキング

2023年05月21日（日）晴れ時々曇り

久々の晴天に恵まれた日曜日、春のエコウォーキングを一般公募11名とスタッフ9名（内2名は花輪川待機）で開催しました。八千代中央駅9:00に集合して、中央駅から南下、八千代一号幹線から方向を西に変え、高津小島の森で休憩後、清掃活動に移りました。途中東高津中の校庭のフェンスの中に、珍しい桜、御衣黄がある事を皆さんにお知らせ、来春是非観るよう勧めました。マナーが向上したのち後もゴミが少なくホッとしましたが、駅やイオン方面に向かう公園都市通りを北上、大師霊園から県道71号線に合流する道路に出た途端、おびただしい投棄されたゴミに遭遇。殆ど中身の残っている2ℓのペットボトルが大量に散乱。収集するにも重量があり、手分けして、引きずりながら、花輪川ベースに運びました。過去、最大量のゴミでした。

ゴールの花輪川オイコス活動拠点では近隣の高秀牧場から朝搾りたての牛乳をいただき温めた牛乳が皆さんを出迎えました。皆さんお代わりして参加者一同美味しくいただきました。

ボランティア活動の原点は、清掃活動です。市民の皆さん、是非参加下さい。

スタッフ 小林



レポート▶ サルビア苗の植栽



オイコスでは二年前より“花輪川遊歩道花壇の会”と名乗り、緑化推進事務所より、サルビア苗を6月に頒布を受けております。

今年は、6/15（木）に金室さんと二人で花苗315鉢を受け取り、一旦、花輪川のイチョウの木の下に仮置きし、6/17（土）にオイコス会員7名で手分けして植栽しました。

毎年夏の暑さで枯れるサルビアが多いので、今回は植え付ける時に掘った穴に水をたっぷりやり、花苗の下の土をほぐして植え付けました。支給苗の数が例年の半分以下だったので、元気なパンジーは残して一列置きに植えました。7月中旬に下草刈りや追肥をやり、7月20日には川の水をポンプで上げてたっぷりやりました。

今、一本も枯れているのはありませんが、8月初旬に咲いている花の下を切って“切り戻し作業”をやると新芽が増えボリュームのあるサルビアになります。

スタッフ 新谷



米作り体験を通して

今年も無事に米作り体験が終わり残るは蕨遊び・餅つき会を残すところとなりました。

オイコスメンバーと米作り体験の皆様の協力を得てここまで来られた事で実はホットしています。今年は機械の準備ができず、自前での田起こし2回から始まり、田植え・草取り(2回)、稲刈りを実施し、脱穀も脱穀機を貸してくれるところに稲を運び脱穀をするという、ひと手間掛かる作業をメンバー・体験の人と一緒にやって行ってくれたことに感謝しております。

本来米作り体験は、この八千代の農地と住宅地が混在する環境でオイコスとして何が出来るかを考え抜いた結果、子供たちが親の働く後ろ姿が見えなくなって久しい時代に親子で一緒に何かをやるのが親子関係を良好にする、もっと八千代を好きになってくれると、米づくり体験はその一助になれば良いと思ったからです。

米づくりは昔ながらの手植え、稲刈り、はざかけ、を通してモノづくりの大変さと、大切さが少しでも理解でき家族でそのお米を食べながら、お米作りの大変さを家族の中で共有が出来れば幸いだと思っています。ありがとうございました。

スタッフ 金室



田んぼの草取り



西 健太 (小学4年生)

田んぼの草取りに参加しました。その日はとても良く晴れていて、きれいな緑色の小さい稲が元気に育っていました。

最初に農家の方から草取りの説明がありました。僕はみんなが稲のたくさんある田んぼに入ってしまうと、稲が傷んでしまわないだろうか心配をしていました。でも、農家の方から「稲の根が切れることによって、逆に稲が強くなる」と聞き、稲はたくましいんだなと思いました。

いよいよ草取りが始まりました。おたまじゃくしとカエルがたくさんいました。田んぼがぬかるんでいて、歩くのが大変で途中で動けなくなってしまうこともありました。とても疲れましたが、みんなでしっかりと草を抜くことができました。

稲がしっかりと育ち、秋においしいお米を食べるのがとても楽しみです。

ボーイスカウト八千代第4団とのコラボ(ミニ川の学校)

ボーイスカウト八千代第4団 熊田博康

8月27日(日曜日)に八千代オイコスさんのご協力の元、ミニ川の学校を開催することができました。ボーイスカウト八千代第4団は“風の広場”と呼んでいる高津にある広場で普段は活動しております。バッタ、トカゲなど野山に生息する生き物は普段からよく見かけているスカウト(幼稚園年長から小学校5年生)ですが、川に生息する生き物についてはいままで触れ合う機会がありませんでした。八千代オイコスさんが普段から手入れをされている花輪川支流では、階段状の護岸から簡単に川に入ることができ、網で川底をさらうことで驚くほど多くの川の生き物に出会うことができます。ドジョウ、よしのぼり、エビ、ザリガニなど普段接する機会が無い多くの川の生き物に出会ってスカウトたちのテンションは最高潮でした。1時間ほどの生き物探しでしたが、非常に充実した時間をスカウトと過ごすことができました。

生き物探しだけではなく、SDG'sと関連して水の大切さを自らの体験から学ぶことができる川の学校は、今後の八千代市を支える若い世代のスカウトに多くのことを学ばせる非常によいきっかけとなりました。



レポート

ボーイスカウト第4団とのコラボ(ミニ川の学校)

8月27日(日)ボーイスカウト第4団と八千代オイコスで川の学校を開催致しました。

地元吉橋在住のたかはし秀行市議にも参加頂き、たかはし市議もボーイと一緒にゴミ拾いウォーキングを実施。

カブ隊、ビーバー隊中心に川沿いを歩きながら拾って行きます。途中、高秀牧場さんがあるので皆で牛さん観察をしました。

ゴールでは何のゴミが多かったか?ゴミはちゃんと捨てるようにしましょう。と最後に話合いました。

その後は一緒に花輪川に入り、網を使って生物調査、水の大切さ等について学びます。皆これが楽しみ!子ども達の目がキラキラしてたのがとても印象に残りました。

今回は珍しい生き物もいました。コオイムシ、ゲンゴロウ、メダカ(お腹に卵有り)、ヨシノボリ、ドジョウ、スジエビ、ザリガニ等。貴重な水棲昆虫とメダカの繁殖も確認出来ました。ジャンボタニシの卵があり、田んぼを荒らす生き物な為に懸念事項となりました。

猛暑が続く夏休みの一時、涼となり、子ども達にとって良い思い出にもなってくれたらありがたい限りです。私達スタッフもとても楽しかったです。大変にありがとうございました!

スタッフ 佐藤



新会員紹介

自然と触れ合い、環境を守るフィールドワークを続けていきたい

佐々原 宏

四月に入会しました。中学1年生の息子と一緒に活動に参加しております。

息子が科学に興味があるので、我が家では博物館や科学館をよく利用します。千葉県科学館のイベントで研究発表の折、新川や八千代の川の資料を依頼した市の環境保全課より紹介を受けたのが、八千代オイコスでした。

私はゆりのき台に住んで15年になりますが、花輪川の水辺を初めて知りました。周りの長閑な風景の中、よく整備された花輪川がとても気に入りました。周囲の長閑な風景の中、よく整備された花輪川がとても気に入りました。周囲の長閑な風景の中、よく整備された花輪川がとても気に入りました。

環境問題は大袈裟に言えば人類の重要課題です。学校教育でも取り込まれ、テレビやネット等でもよく取り上げられるので、子ども達の環境への意識や知識は高くなっている一方、生き物を捕まえたり、森や林の中を探検したり等、自然に触れる機会は減っているようです。上記の博物館や科学館は、館内でのモノの展示に止まらず、現場に飛び出して植物や生き物の生態を観察させる体験型のフィールドワークに力を入れ始めています。オイコス等がやっている環境整備は、まさにそのフィールドを守る大切な活動です。

次につながる活動を続けていきたいと思ひます。

編集後記

コロナで「体験」することがなくなった2年間。やっと子どもの歓声が響く花輪川になり、嬉しい限りです。「川の学校」が、団体や学校と繋がることで事業をより深め、拡がりを見ることができました。

(J-TANA)



発行責任者：金室 彰

事務局&問合せ：小林和幸 (090-1842-8738)

mail : info@yachiyo-oikos.jp